

記者発表資料
平成21年5月25日
都市経営局基地対策課長
金子晴由 電話 671-2057

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

富岡倉庫地区の返還について

本日（5月25日）午後2時、齊藤南関東防衛局長が市長を訪れ、富岡倉庫地区が返還されたとの報告がありましたので、お知らせします。

市長あて通知文：別添のとおり

<参考資料1> 富岡倉庫地区の概要：冊子「横浜市と米軍基地」より抜粋

<参考資料2> 跡地利用方針：冊子「米軍施設返還跡地利用指針」より抜粋

【南関東防衛局長から市長への返還の報告】



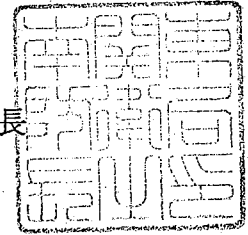
【参考】 富岡倉庫地区全体図



南防第3067号
平成21年5月25日

横浜市長 殿

南関東防衛局長



FAC3072 富岡倉庫地区の返還について (通知)

防衛行政につきましては、日頃より御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、本施設及び区域につきましては、平成16年10月18日、日米合同委員会において、返還が基本合意されていたところ、平成21年5月25日をもちまして全部返還されましたので、下記のとおりお知らせします。

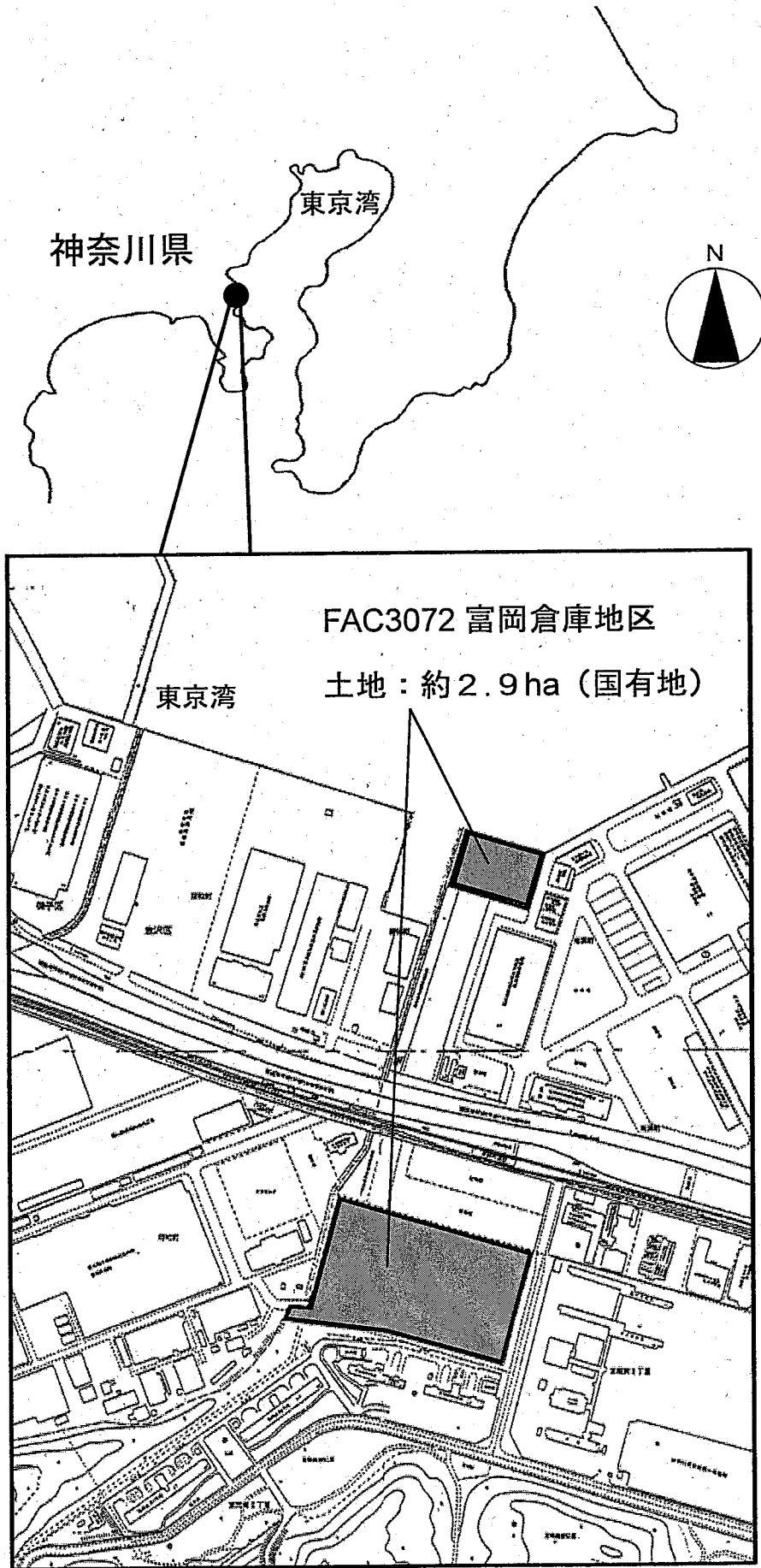
記

- 1 施設及び区域の名称：FAC3072 富岡倉庫地区
- 2 施設及び区域の所在：神奈川県横浜市金沢区
- 3 返還面積等：土地 約29,000㎡
工作物 門、圍障 等

以上

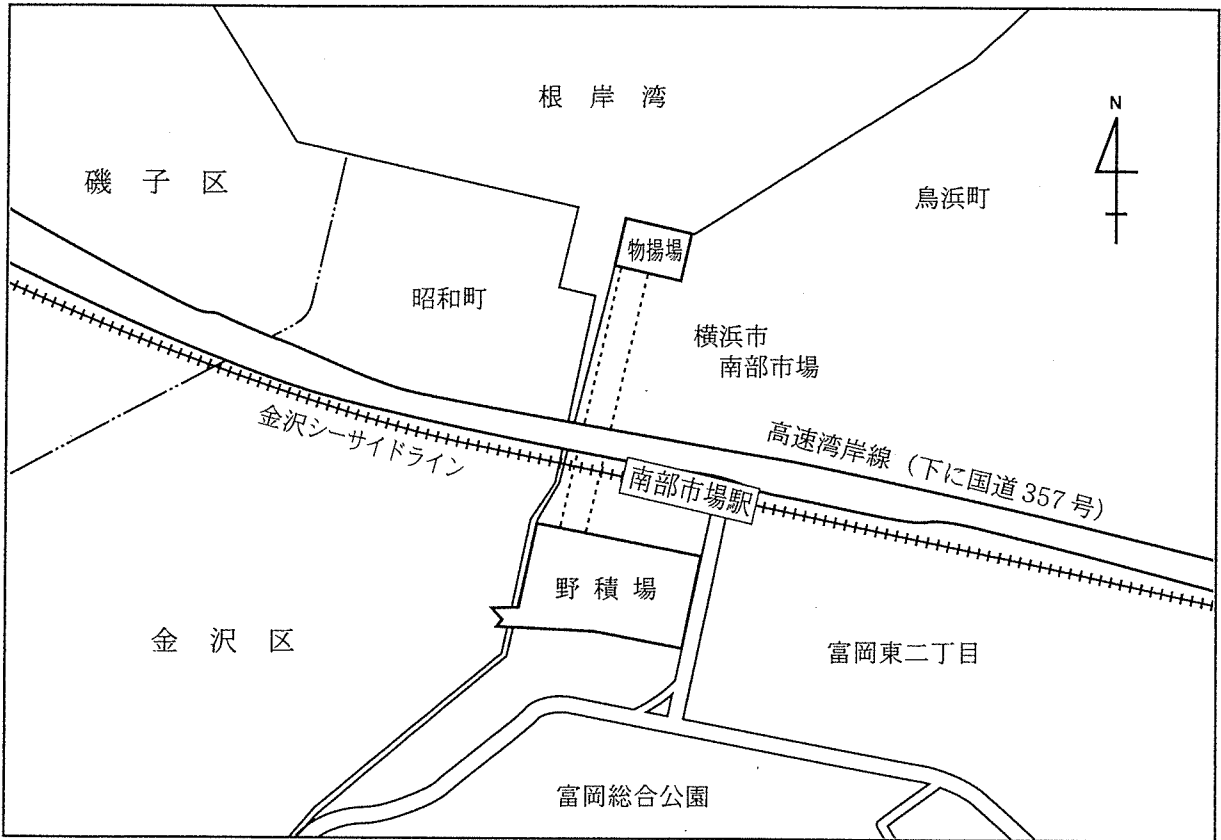
添付書類：別図

富岡倉庫地区位置図



(2) 倉庫施設

富岡倉庫地区



富岡倉庫地区

Tomioka Storage Area

接收年月日	昭和20年9月2日	
所在地	金沢区富岡東二丁目、鳥浜町	
面積	土地： 28,988 m ² (国 有)	(約 24,156m ²)
	地域地区等の指定： 野積場 第1種住居地域、工業地域、準防火地域 (約 24,156m ²) 物揚場 工業地域、臨港地区 (約 4,832m ²)	
現況	<p>管 理：在日米海軍厚木航空施設司令部</p> <p>昭和45年まで米陸軍貯蔵局の出先として、倉庫、野積場、ヘリポート、物揚場、射撃場等があり、横浜ノース・ドックの予備的施設であったが、昭和46年2月に大部分が返還された。残った部分は、現在倉庫施設として使用されている。</p>	
[経 過]	<p>昭20. 9. 2 旧日本海軍の飛行艇基地が米陸軍第508通信修理隊施設として接收された。</p> <p>昭36. 12 「富岡倉庫地区」と名称変更された。</p> <p>昭45. 9. 23 米陸軍から米海軍へ本施設の移管がなされた。</p> <p>昭46. 1. 7 日米合同委員会において、富岡倉庫地区の一部の返還が合意された。</p> <p>昭46. 2. 17 上記、土地 312,573m²が返還された。</p> <p>昭47. 5. 29 国有財産地方審議会において、返還跡地の利用計画が決定された。</p> <p style="padding-left: 20px;">大 蔵 省 (公務員宿舎 3.75ha)</p> <p style="padding-left: 20px;">神奈川県警 (機動隊訓練場 5.65ha)</p> <p style="padding-left: 20px;">横 浜 市 (公園及び道路 23.03ha)</p> <p>昭49. 2. 27 横浜市は返還跡地の公園部分を富岡総合公園として使用を開始した。</p> <p>平 4. 3. 5 木材等物資が搬入されたので、横浜防衛施設局に搬入の経緯、目的などについて照会するとともに危険物の搬入のないよう申し入れを行った。</p> <p>平 8. 10. 30 横浜市は地元町内会の要請を受けて、横浜防衛施設局に対し返還または一時使用について要請を行った。</p> <p>平10. 10. 4 南部市場まつりの駐車場として、初めて一時利用が認められた。</p> <p>平16. 10. 18 日米合同委員会において、返還の方針が合意された。</p>	

4 富岡倉庫地区

～海と丘をむすぶ産業創造空間～

交通利便性が高い臨海部に位置しており、海辺の水際線の活用や近接する公園との連携により、海と丘をむすぶ魅力づくりを図るとともに、立地特性を活かして新たな産業振興・経済発展に寄与する空間の形成を目指します。

(1) 跡地利用に関する前提

- 富岡倉庫地区は海に面する「物揚場」と富岡総合公園に近接する「野積場」に分かれ、両者は国道を挟み市有地を介して繋がっています。
- 周辺には、首都高速湾岸線、金沢シーサイドライン南部市場駅が位置しているほか、工場・研究所等の産業系施設が立地し、中央卸売市場南部市場、横浜ベイサイドマリーナ等の施設もみられます。また、近傍には（仮称）杉田臨海緑地を計画しています。
- このような周辺の土地利用の状況を踏まえつつ、高い交通利便性や、海・公園との関係を活かした土地利用を進めることが重要です。

(2) 跡地利用の方向

ア 産業振興に寄与する拠点

周辺の既存産業の活性化や新産業の創出を図るため、官民の先端科学技術に関わる人材育成、産学連携、情報交流、研究開発、創業支援などの機能を導入することを目指します。

イ 地域の魅力向上

海辺の水際線を活用するとともに、海と富岡総合公園など丘の緑をむすぶ軸を形成し、地域住民の交流や活動の場づくりに資するよう魅力的な空間を確保することを目指します。

富岡倉庫地区 跡地利用概念図

面積 2.9ha
国有地 2.9ha (100%)

